

戸田市におけるグリーンウェイブ 2013 の活動

グリーンウェイブとは？

世界各地で国際生物多様性の日（5月22日）午前10時（現地時間）に青少年、子供たちの手で、それぞれの学校・地域などで植樹等を行うという運動です。植樹の活動が、地球上を東から西へ波のように伝わっていく事を「緑の波（グリーンウェイブ）」と表現しています。
<http://www.greenwave.go.jp/>

NPO 法人グリーンガーディアンズ
代表理事 管 信利 Nobutoshi SUGA
Email: info@green-guardians.org
URL: <http://green-guardians.org>
090-3401-3029

背景 国連の生物多様性事務局が、5月22日「国際生物多様性の日」を中心に生物多様性保全のための行動を呼びかける世界共通のアクションである「グリーンウェイブ」が発表されました。日本においては環境省・農林水産省・国土交通省により3月1日から6月15日の期間で行動が呼びかけられ、毎年活動の広がりをみせています。特に9月に制定された「生物多様性国家戦略 2012-2020」では、日本においての愛知目標達成に向けた取り組みの一座標として「グリーンウェイブ」が位置づけられたり、昨年12月に国連総会で3月21日を「国際森林デー」とすることが定められたりするなど国内外の潮流を踏まえ、本年の「グリーンウェイブ」を通して、更なる森づくりや生物多様性保全の輪が広がっていくことを期待されています。主唱：環境省、農林水産省、国土交通省 目的：グリーンウェイブ活動をきっかけに、生物多様性に関する理解を社会に浸透させることを目的としております。

我々の提案する戸田市での活動

戸田市の緑地は荒川に接する緑地帯、公園、またJR沿いの緑地帯を中心に大規模に広がりを見せているが、概ね市内の緑地に関しては公園、街路樹、緑道という点在した緑地に頼ることが多いと言えます。その中でも市役所周辺は大規模な緑地を有する後谷公園、北大通りのケヤキ並木、市役所通りの緑道があり、その緑のポテンシャルが高い地区と考えられます。この中心部の緑地の緑を点から線につなぐ連続した緑のコリドーとなる場所に**埼京オフセット株式会社・中日新聞東京本社埼京事務所**があり、その敷地内に、隣接する**戸田こども園の子供たちの手によるサクラの植栽**を計画します。未来を担う子供たちの手で植えられた植物が、地域と共に育ち成長する様を身近に感じてもらうことを目標としております。

今回、グリーンウェイブ 2013 における植樹活動において、計画地を選定するに当たり**埼京オフセット株式会社・中日新聞東京本社埼京事務所**様の立地場所は、後谷公園とイトーヨーカ堂脇の桜並木をつなぐ桜ラインの中間に存在し、今回計画されるヤマザクラの植樹を行うことで、その両者を結ぶ桜の軸線の形成をより強く表現できるものと考えます。また、紙を利用する**埼京オフセット株式会社**様の環境に対する意識と、地域貢献の意識のもとに、我々のグリーンウェイブによる子供たちの植栽活動の理念に賛同していただき、今回の計画地として名乗りをあげて頂きました。

